

会議の概要

令和3年度 第5回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和3年10月5日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（1階）

分科会：大玉中…健康相談室（1階）

玉井幼・小…農事研修室、大山幼・小…農事相談室（2階）

（進行 指導主事 斎藤一範）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

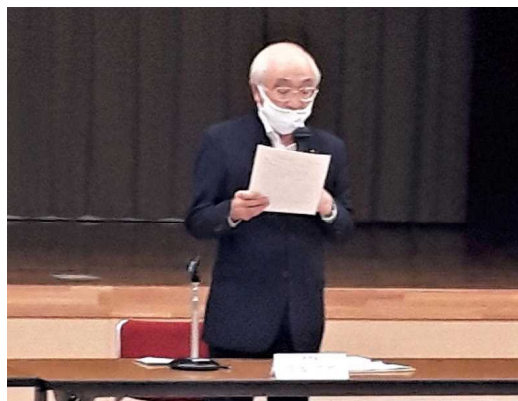
みなさん、こんばんは。これより令和3年度第5回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を行います。よろしくお願いします。

2 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

○ 改めましてお晩でございます。すっかり秋めいてまいりました。全国を見渡しますと、日向湾で10月として観測史上初めての真夏日を記録する等異常気象が続いています。

さて、先週末はとても良い天気、安達太良山の紅葉も進みとても美しい風景だった。今年度は、2年ぶりに“おおたま・オータム・フェスタ”を実施できるのではないかと期待していたのだが、このような（コロナ禍の）状況のため中止せざるを得ず、大変悔しい思いをした。たぶんここにおいでの方のCS委員の皆様も同じ気持ちだったと思う。今まで、何回も何回も打合せをして準備をしてきたのだが、今年はこういう形で終わってしまった。私は元教員で、教材研究をする中で資料を作って授業に臨んでいたのだが、資料を使わないで終わってしまった場合も多々あった。そのような記憶を思い起こさせるような結果であった。これも仕方のないことであるので、来年の実施に向けてみんなで力を合わせていきたい。



○ 令和3年度全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】について

これはとても大事な内容であるので、CS委員さんに概要と対応等について説明する。また、一昨年度から“ふくしま学力調査”を行っており、“全国学力・学習状況調査（以下全国学テと省略）”とは別のねらいで始まったものなのだが、この調査結果も出たので、それについてもお話をさせていただきたい。

全国学テは文科省が実施しているが、この結果の扱いについてはいくつか注意点がある。

- ・ 調査から測定できるのは学力の特定の一部である。結果についてはこのことを念頭におくこと。
… 今回は国語科と算数・数学科を実施（小学6年と中学3年のみ）
- ・ 意識調査について…とても大事であり、学校における教育活動の一側面である。
以上を踏まえて活用して欲しいとしている。

- 机上の資料『第4回おおたま学園CS委員会 会議の概要』の「2教育長あいさつ」のところの3つ目の丸をご覧ください。

大玉中学校オープンスクールのまとめの指導で、渡邊主任指導主事から「授業をするための三角錐」についての話があった。三角錐を3層に分け、一番下の全てのベースになるものが「生徒との信頼関係」、いわゆる「生徒指導」又は「学級経営」である。二番目の層は何かというと「教科を超えた指導」で、一番上の層が「教科指導」ということである。

そうすると、例えば全国学テの今回の国語の調査結果は、一番下に生徒指導、その上に教科を超えた指導があるのだが、一番上の国語科の指導についての結果のみを示したものと言える。上だけの結果を見るのではなくて、教育活動やベースとなる生徒指導についても見ていくことが重要である。その点についても後程説明があるのでよろしくお願ひしたい。

- 第3回コミュニティ広場について

昨年度は、CS委員の皆さんのアイディアによりオンラインでの発表（配信）という形をとった。コロナは少し収まってはいるが、これからどうなるか分からないので、内容面と方法面をどういう形にしていっていいのかご意見をいただいて、それをもとにして実施計画を詰めていきたいと思っている。地域の様々な人たちにお話を聞いたのだが、「私も（発表を）見たかった。」という意見も結構あった。そういうことをどうしたらいいのか、もし、去年のような形にするのであればどのようにするのか等も含めてご意見をいただきたい。

- 学校関係者評価について

CS委員会の残りの開催も少なくなってきたが、学校関係者評価について考えていただければと思う。平成23年度にCS委員会がスタートしてからいろんな活動をしてきたわけだが、その大きな転換点となったのが、CS委員に学校評価委員として学校関係者評価をしていただくようになったことである。学校関係者評価は、各校長（園長）・副園長が次年度の学校（幼稚園）運営ビジョンをつくるのに大きな資料となっている。オープンスクールへの参加も含めて学校関係者評価は、非常に大きな意味をもつものである。今後の委員会で意義や内容・方法等についてどのように研修会をもつのか、今後の方向付けを皆さんで決めていただきたい。

以上少し長くなりましたが、今日もよろしくお願ひします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会副会長 矢吹 吉信）

- 改めましてお晩でございます。今日はお忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。伊藤会長が本日お休みということで、代わりにごあいさつさせていただきますと思います。

- 先ほど教育長から10月2日は非常に残念だったというような話があった。とても天候が良かったので、私も山を見て悔しい思いをしたのだが、それ以上に子どもたちはもっと悔しかったんだろうなと思った。2学期に入ってから、宿泊学習の延期を始めいろんな行事がコロナのせいで中止や延期になり、子どもたちはやりたいことがいっぱいあるのに「本当に残念だなあ」「悔しいなあ」と感じていると思う。園だよりや学校だよりを見ると、校長先生始め先生方が知恵を出し合って、苦勞して子どもたちのために何とかワクワク、ドキドキするようなことをやってやろうという気持ちが伝わってくる。（先生方は本当に大変だと思う。感謝している。）

10月、11月と運動会、文化祭、修学旅行等子どもたちが楽しみにしている行事がたくさんある。コロナもだいぶ落ち着いてきたので、何とか予定通り行わせてあげたいと思っている。地域の方々、CS委員の方々にもご協力いただきながら、子どもたちの笑顔を見たいと思っている。

- 本日は、全国学テとコミュニティ広場についての協議があるのでご協力の程よろしくお願ひします。大変お世話になります。



4 諸連絡 本日の日程・内容について (指導主事 斎藤 一範)

本日は大きく分けて以下の2点について協議を進める。

- 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和3年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について
 - ① 事務局より結果の説明(全体会)
 - ② 各園・各校での協議(分科会)
 - ・学校や地域・家庭でできそうなこと、やってみたいこと
 - ・グループ … 大山幼・小<6名>、玉井幼・小<7名>、大玉中<5名>
 - ③ 全体共有(全体会場<多目的ホール>に戻って)
- 第3回コミュニティ広場について
 - ① 事務局より説明(全体会)
 - ② 各園・各校での協議(分科会) … 内容・方法等について
 - ③ 全体共有(全体会場<多目的ホール>に戻って)

5 協議 (座長 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹吉信)

(1) 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和3年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について

(座長) それでは、令和3年度 全国学力・学習状況調査結果、令和3年度 ふくしま学力調査結果について事務局より説明願います。

① 事務局より説明

(斎藤指導主事) 今年度の調査は小学6年生と中学3年生を対象に実施した。

～ 詳細は省略 ～

(座長) 只今斎藤指導主事から説明があったが、何か質問等はないか。この後各校・園の協議もあるので、その時に何かあればお話をさせていただいて、全体共有の場に出してほしい。



(教育長) 資料のデータについて補足説明をする。

(斎藤指導主事) 1日に1時間以上ゲームをする割合は、小学6年生が6.5ポイント全国平均より上回っており82.7%。子どもたちはより多くゲームをしていると捉えてほしい。逆に中学3年生は6.7ポイント下回っているの、全国よりゲームをやっている時間は短いと考えていただければと思う。

(座長) うれしいことに「地域や社会をよくするために何をすべきか考えていることがありますか」の問いに対して「考えている」と回答する児童・生徒の割合が全国平均を大きく上回っている。大玉の教育「地域と共に歩む学校づくり」が順調に進んでいるんだなとうれしく思った。これからの各校・園ごとの協議の中で何か質問があれば後でお話をさせていただきたい。19時30分から全体共有を行うので、それまで協議を終えられるようお願いしたい。

② 小グループによる熟議（各園・各校ごと）



③ 全体での共有

（座 長） それでは、全員お集まりのようなので、全体共有と言うことで進めていく。各グループ2分程度となっている。大玉中学校から願います。

ア 大玉中学校

（大玉中学校長 安田 浩明）

- （学力調査の結果を踏まえてであるが）大玉中の生徒は家庭学習に2時間以上、計画的に取り組んでいる子が多いという結果だった。量的な部分では確かに数値的に上がっているのだが、ただ勉強をこなしているということではないのか。また、そういう傾向があるということではないのか。
- ただ勉強をこなすのではなくて、純粋に「分かった」という気持ちになるような勉強ができないか。そのためには、子ども同士の学び合いが大切である。例えば、話し合うことによって、互いに考えを深め合ったり、気づきが生まれたりする。また、話し合いの過程で、人の話をよく聞いたり自分の意見を話したりすることができるようになり、さらに学力が高まっていくのではないのか。

また、「書く」「話す」「聞く」などの能力を伸ばすには読解力も大事である。そのためにももっと本を読ませたい。

イ 大山幼・小学校 （大山幼稚園長・小学校長 館脇 一弘）

- 先程教育長から学力についてお話があったが、CS委員さんからも今の数値にとらわれることなく実践を進めて欲しいということでした。たくさんのご意見をいただいた。
- （大玉中学校からも出たが、）授業が楽しくて、子どもたちが「学びたい」「今日はこんなことがあるんだな」と思える授業を展開することが一番大切である。

ウ 玉井幼・小学校 （玉井幼稚園長・小学校長 小林 雄）

- 大玉の子どもたちはまじめな子が多い。今後は、言われたことだけをやるのではなく、自分から好きなこと、やりたいことを見つけて課題解決に取り組むような子どもたちを育成することによって、本当の学力につながっていくのではないかというご意見をいただいた。

そのためには、体験を通してしっかりと学んでいくことが大事であるし、教職員もそういう意識を持って指導に当たっていくことが重要である。

- 学校だけが抱え込むのではなく、家庭をまきこむためにも、学校だより等を通して「こんな学習をしていますよ。ご家庭も一緒に。」等の取り組みをやってみたらどうか。
- 学校では、与える知識だけでなく生活に関わるような知識も身に付けさせていくことが大事である。
- 学力の実態が出たわけだが、その結果を家庭に返すことによって、家庭にも危機感を持ってもらってもいいのではないか。



③ 全体での共有

(座 長) 全体での共有に移ります。玉井幼・小のグループからお願いします。

ア 玉井幼・小学校 (玉井幼稚園長・小学校長 小林 雄)

<内容・方向について>

- 大玉村の魅力や今後どうしていきたいかについて、子どもたちの発表を受けてみんなで話し合うスタイルがいいのではないかな。今年は企業の方が入ってくるということで深まりがでると思われるし、メンバー的にも良い。発信については、保護者だけでなく全村民にできるよう検討したい。

<学校関係者評価研修会について>

- 新しいメンバーもいるので今年も講話をいただきたい。

イ 大山幼・小学校 (大山幼稚園長・小学校長 館脇 一弘)

<内容・方向について>

- 実施時期をもう少し早くすることはできないか。(中学生にとっては最後の機会である。) また、素晴らしい実践であるので、できるだけ多くの方に参加いただきたい。改善センターではなく、大玉中学校の体育館も考えられる。地域住民にもっと多く参加していただきたい。
- テーマを子どもたちが理解しやすいように、「大玉村を元気にするために (地域への恩返し)」とする。
- 1部 … 子どもたちができることを企業にプレゼンするような形で話し合いをする。
2部 … 1部の内容をもとに、さらにグループで実現に向けて具体的な意見交換をする。

<学校関係者評価研修会について>

- 毎年新たな学びがあるので今年もぜひご講話いただきたい。

ウ 大玉中学校 (大玉中学校長 安田 浩明)

館脇校長先生から話があった「大玉中でやったらどうか」を受けて、大玉中を使っていたけるのであれば構わない。ただし、体育館は寒い。ご検討をいただきたい。

<内容・方向について>

- 中身的には計画通りでよいのではないかな。ただ、多くの地域住民に視聴していただける場や機会を何とか工夫して提供できないだろうか。例えば、人が多く集まる場で放映してもらおうとか…。webで保護者に限定配信もいいのだが、一般の方々が視聴できるようにすることも必要である。

<学校関係者評価研修会について>

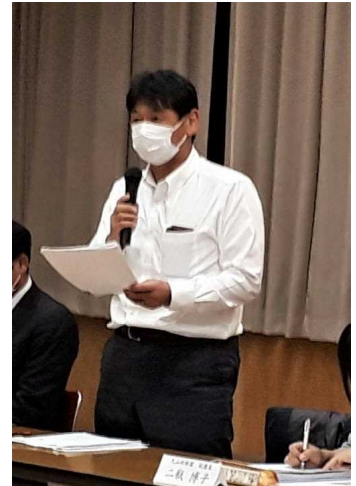
- 新しくCS委員会に入られた方にとっては必修というか、聴いていた方がよい。また、選択制をとって、これまでいたCS委員は別の研修をしてもいいのではないかな。

(座 長) みなさん、貴重なご意見をありがとうございました。会場を変更して大玉中で多くの方を集めて行う案もあったし、期日を少し早める意見もあった。

(事務局に向かって) これは12月13日のCS委員会の際の修正案に入ってくるのか。

(斎藤指導主事) これから今日いただいたご意見を私の方でもう一度整理させていただく。それをもとに、学校の発表にも関わることであるので、校長先生方と改めて確認(検討)をして12月13日のCS委員会の際に修正案として提示させていただく。

(座 長) それでは、12月13日には各グループの考えをくんだ内容が提示されると思うのでよろしくお願ひしたい。



(3) 全体での意見交流

(座 長) 全体に関することで何かあればお願いしたい。コロナに関するガイドラインも提示されているので、それについては大丈夫かと思う。何か一言でもあれば…。

(委 員) — 特にない様子 —

(座 長) 以上で協議を終了する。

6 その他

(指導主事 斎藤 一範)

- 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三鷹について
 - ・ 11月6日(土) 10:00～16:00 オンライン開催(w e b 配信)
 - ・ 申し込みQRコードから各自申し込み、視聴していただきたい。本村にとって大変参考になる内容もあるので、一人でも多くのCS委員さんにご覧いただきたい。

7 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 館下 愛理)

みなさん今日はお疲れさまでした。これで第5回おおたま学園CS委員会を終わります。ありがとうございました。